

SEIG

LIB-NEWS

2020年2月6日発行

聖学院中学校・高等学校

図書委員会

3月11日講演会 チケット予約はお早めに！

図書館では、2020年3月11日（水）、東日本大震災を覚え、講演会を開催します。

観覧をご希望の方には、現在、チケットを配付中です（無料）。先着50名限定ですので、まだチケットを手にしていない方は、早めに図書館カウンターで受け取って下さい。

テーマ 東日本大震災

メディアの責務×視聴者の心得

日時 2020年3月11日(水)
午後1時00分～2時30分
(開場 午後12時30分)

出演 宮本 聖二

元NHK報道局チーフプロデューサー
NHK「東日本大震災アーカイブ」

制作編集責任者

ヤフー株式会社

エグゼクティブプロデューサー

今回、お招きする宮本聖二さんは、NHK「おはよう日本」のチーフプロデューサーを務め、「Nスペ沖縄戦」「東日本大震災アーカイブ」（毎週日曜日放送）を手掛けられた方です。

「被災地のために何かやりたいけど、何をすれば良いのか、わからない」

「これから起きる自然災害に、どのようにむきあうべきかを考えたい」

「報道の実情について知りたい」

「将来、マスコミで働くために、どのような準備をすれば良いのか知りたい」

と思う方は、この機会に、ぜひ参加して下さい。

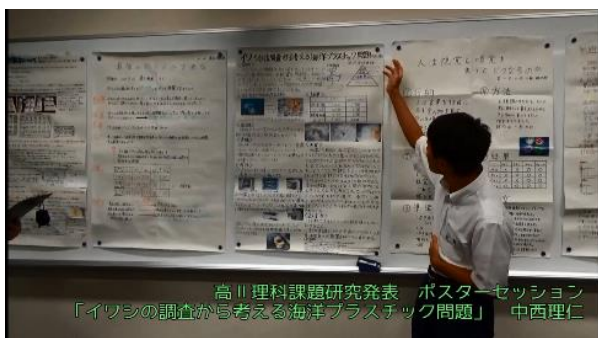
中学入試 終了！

2月1日～4日、中学入試が行われました。この間、図書館を、受験生保護者の待機場所として開放し、多くの方に利用していただきました。

館内では、図書館が撮影した、この一年の授業の動画を上映し、聖学院の中身を知っていただくことができました。

4月から、「先輩！」と呼ばれるみなさん。

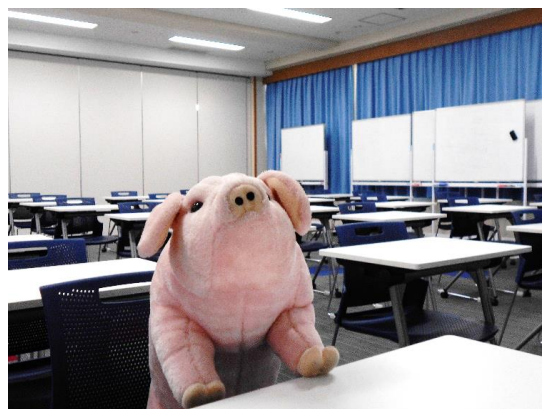
新入生を迎えた時には、図書館の有効な利用方法をアドバイスしてあげて下さい。



高II理科課題研究発表 ポスターセッション
「イソシの調査から考える海洋プラスチック問題」 中西理仁

リレーエッセイ教職員版

今号から、裏面のリレーエッセイは、事務職の方々になります。学校というのは、事務職の方の地道なお仕事があって初めて、先生方が、安心して授業できる環境が整います。「影の立役者」である事務職の方の作品を、ぜひご一読下さい。



入試会場をかたづける ぶた館長

◎教職員のリレーエッセイ◎ 第76回

事務長 辻本 修さん

探偵は趣味のようなもので…

歴史、恋愛、SF…。小説にも色々ありますが、自分は特に推理小説が好きで、ほとんど推理モノしか読みません。小学校の学級会での班ごとの企画で、当時出版されていた推理クイズの本の中からみんなに出題したことがきっかけで、[推理]という世界に興味を持ったと記憶しています。

そんな私がある推理小説に出会ったのは、かれこれ30年以上前でしょうか。近所の推理小説好きのおばさまが、「読み終わったからあげる」と、たくさんの文庫本が入っている段ボール箱を置いていったときです。西村京太郎、山村美紗、島田和夫などなど。西村京太郎と山村美紗はテレビシリーズもあって知っていましたが、当時は名前を知らなかった内田康夫という作家の「後鳥羽伝説殺人事件」という小説が入っていました。

今ではテレビドラマ化されているので、書名だけでピンと来る方もいると思いますが、主人公は浅見光彦。聖学院中高の所在地は北区中里ですが、光彦はそのお隣の西ヶ原の生まれ育ちという設定。実家の豪邸に居候していて、女性関係に疎いお坊ちゃまのルポライター。その一方で数々の難事件を解決する名探偵という顔も持つ。

父は東京帝国大学卒の大蔵官僚。兄も東京大学卒の現警察庁刑事局長。

取材に行く先々で名探偵コナン並みに事件に出くわし、警察が怪しい奴だと疑って身元を確認すると、刑事局長の兄が水戸黄門の印籠のように出てきて「どうやら、また弟がご迷惑をおかけしているようですね」…。こんな基本の設定が気に入り、このシリーズを十数冊読んだのでしょうか。今はテレビドラマで、また一味違う雰囲気を楽しんでいます。

作者の内田康夫は残念ながら2年ほど前に亡くなりましたが、ご自身も北区滝野川の出身。晩年は軽井沢に移り住み、そこには、この浅見光彦の記念館とティーサロンがオープンしていて、数年前に、聖地巡礼ではないですが、一度訪れました。

ティーサロンは軽井沢の木漏れ日の中にあり、そこから少しはなれたところにある記念館は、浅見光彦が実在の人物であるかのように作られていて、車庫には愛車の旧型ソアラ、記念館の中には兄の刑事局長の机がありました。(笑)。

あ、そういえば、触れるのが遅くなりましたが、このエッセイもどきの題名「探偵は趣味のようなもので…」というのは、名探偵だという素性がばれてしまったときの光彦の決まり文句。自分も「ゴルフは趣味のようなもので…」と言えるほどの腕前になれたらなあ、常々思っています(笑)。

事務長のお仕事

今回、執筆して頂いた辻本修事務長は、1階にある事務室で仕事をされています。事務長のお仕事は、一言で言えば「学校事務の統括」ということになりますが、そもそも「学校事務」自体が、とても多岐にわたります。たとえば、学校の財産・予算の管理。学校の教育活動に必要な設備を、限りある予算の中から効率的に整備する、なんてこともしています。台風などで学校設備が壊れると、予定外の出費となり、その対応に追われます。そのほか、学籍の管理（生徒のみなさんの、入学から卒業までの身分の証明）、学校行事の際の解散時間変更の伝達、来客の対応、生徒の欠席連絡の把握、会議場所の設営といった仕事もあります。また、みなさんが卒業した後も、その記録をしっかりと残すことも重要な仕事です。みなさんが、安心して本校の生徒でいられるよう、事務長は、学校業務を統括しています。